

9月にロボット教室

人材育成コンソーシアム

本年度の計画決める

大 館

児童生徒にロボットプログラミングを学ぶ場を提供する「おおだてロボット人材育成コンソーシアム」(会長・佐藤義晃大館商工会議所会頭)の2022年度総会が17日、秋田職業能力開発短期大学校で開かれた。約20人が出席し、教室や大会開催などを盛り込んだ事業計画を確認したほか、教室に新たに導入する新

教室開催など事業計画を確認した総会(秋田職能短大)



ロボットのデモンストレーションを行った。

ロボットのプログラムづくりを通して、ものづくりに関心を抱く人材の育成を目的としており、市内の商工、教育関係団体や企業などで組織。始めに佐藤会長は「今はロボットが活躍する時代。子どもたちの成長につながる取り組み

みを今後も続けていかなければ」とあいさつした。

計画では、9月4日に市内の小中学生を対象にしたロボット教室を開催する。同大学の学生が講師を担当し、初級(定員20人)と中級(同10人)に分けて教室、競技会を行う。本年度から新しい型のロボットも導入するとして、「まだ

準備段階だが、多くの申し込みがあった場合にも対応できるように進めたい」とした。このほか、大館少年少女発

明クラブロボット教室(12月)、同クラブによる青森県石市とのロボット交流会(3月)開催を計画している。